

自然エネルギー信州ネット

2018年度定時総会 次 第

日時：2018年（平成30年）6月30日（土）

14：30～16：00

場所：長野市生涯学習センター（トイゴ）第1、第2学習室

1. 総会開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ
4. 議長選出
5. 議事

第1号議案	2017年度	事業報告	資料 1-1	1-2
第2号議案	2017年度	収支決算報告および監査報告	資料 2-1	2-2 2-3
第3号議案	2018年度	役員交代の件	役員名簿	
第4号議案	2018年度	事業計画（案）	資料 3	
第5号議案	2018年度	収支予算計画（案）	資料 4	
その他、意見交換等				

6. 議長退任
7. 閉会

自然エネルギー信州ネット 2017年度活動報告

資料1-1

I 2017年度の活動方針

2016年度、新運営体制のもと、既存の事業、ネットワークの上に、あらたな新規プロジェクトが複数開始された。

2017年度は、刷新された運営・事務局体制によって新規プロジェクトをより機動的に実践する。

- 1)新規プロジェクト（白書、クラスター、人材育成、地域推進事業（太陽光）など）を実行しながら、各地域での既存プロジェクトの融合、新規プロジェクトのスピノフをめざす。
- 2)専門部会の活動をテーマ達成型の活動へと軸足を移し、活動の活性化をはかる。
- 3)創工ネと共に省工ネ・建物断熱化をめざし、COOL CHOICE宣言自治体を増やすなど、総合的な自然エネルギーまちづくりの事業に関わる。
- 4)会員参加によって信州ネットの活動を活性化させるしかけや仕組みを取り入れる。

活動結果
エネ庁からの委託事業、その他の事業も下記の通り、実行できたが、一部中途のものもある。
信州ソーラーパトロールの発進。その他の取り組みは下記の通り。
エネ庁のPV-OM事業で、太陽光部会を中心とした活動。バイオマス部会、グリーン熱部会にて視察会等を行った。
COOL CHOICE委託は長野市の登録団体となった。地中熱研究会を行なった。また、県の産業化研究会に参加。
PV-OM関連の参加企業で新規何社かの問合せはあったが、全体としては会費会員は減少の傾向。

II 活動計画 及び報告

大項目	目的・ねらい	内容	施策	担当	活動結果
1 専門部会活動の推進	全県共通テーマを中心に、専門性のある調査、研究、企画などに取り組む	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める	各専門部会が策定する活動計画による		各専門部会
		・太陽光部会	<ul style="list-style-type: none"> 改正再エネ、保守管理、地域推進セミナー ○スケジュール 年に数回の部会を開催予定。部会員より希望があれば視察等を同時開催。また、事業化支援の必要があれば協力していく。 ○課題・太陽光については、他のエネルギーと比較しても急速に拡大したため、支援なくても普及している ・固定価格買取制度の買取単価も年々減額となっているため、事業化に取組むには慎重な検討が必要。 ・設置するにあたり、各自治体の規制も強化されているので周知していくことも必要。 	中村嘉寿良氏	<ul style="list-style-type: none"> 一社自然エネルギー信州ネットの太陽光発電保守事業委託 と共同してセミナー開催 太陽光保守管理専門委員会 発足 信州ソーラーパトロール（データベース）立ち上げ
		・小水力部会	<ul style="list-style-type: none"> 視察・見学会、勉強会 	丸山幹夫氏	県内で小水力の動きが盛んで情報収集を行った
		・バイオマス部会	<ul style="list-style-type: none"> 5/11 国産ペレットボイラー参観日 ・「すくだしてマキボイラー」マキボイラーの視察 ・木曽郡木曾町「せせらぎ湯」マキボイラー ・「マキランド」の設置 ・木質燃料（チップ・ペレット）の地球に戻す、完全なリサイクルを目指す ・小規模ペレット製造の立ち上げ 竹ペレット・製材所のおが粉など ・情報の発信・提供 	田中守氏	5/11 国産ペレットボイラー視察を行った。
		・グリーン熱部会	<ul style="list-style-type: none"> ○スケジュール：28年度はアンケートを部会員に対して実施したが、回答率が低く計画通りの実施が出来なかった。29年度は年に数回の部会を開催し、あらゆる熱エネルギーについての課題等を抽出していく。そこから部会員の専門的知識にて事業性を見出すことができればと考えている。 ○目的：・視察、勉強会については、各エネルギーの関係団体若しくは行政に協力をいただき実施して知識習得を図る。地中熱利用説明会（6/17） ・ZEHの周知。 ○達成目標：・知識の習得。・事業化の確立 ・○課題 ・事業化をするにあたり、施策等のバックアップがない。 ・事業化の対象先が限定される。 	中村嘉寿良氏	6/17 地中熱利用説明会 を行った
・政策調査部会	<ul style="list-style-type: none"> ○政策調査部会内の体制構築 ・いったんメンバーをリセット、再募集し、部会員を確定させる ・確定した部会員で、部会運営の役割分担を行う ○県との政策協議 ・次期長野県中期総合計画（2018～2022年度）策定への参画 	平島	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギー政策を進めていくうえでの支障事例照会への回答 次期長野県中期総合計画策定へ意見出しを行った。 		
2 プロジェクトチームの創設と活動	地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及	信州ネットのプロジェクトチームとして創設	各チーム活動の基本的考え方		
		・「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会	茅野	FIT公開情報も含め、作成
		・「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	・産官学のネットワークによる情報交換・研究活動	平島	長野県の産業化研究会と連動。信州ソーラーパトロール
		・事業化支援事業	・鬼無里「あるをつくす」事業化支援	小田切	薪ボイラーを導入した。使用マニュアルを独自に作成した。
		・人材育成事業	・県の人材育成事業のフィールドセミナー担当	小田切	公開セミナーを1回、鬼無里と塩田にてフィールドトリップ開催
		・太陽光OMネットワーク事業（地域の再エネ推進事業）	・セミナー開催、県内事業者データベース構築	合原	9回のセミナー、研修。及び、データベースと体制づくりを行った。
		プロジェクトチーム提案に対しての支援・協力	・事業化支援を行う人材（会員）のチームアップ		
広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など	広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など	田村	長野高校のSGHプロジェクトに協力し、学生の自主的な自然エネルギープロジェクトも起きた。COOL CHOICE委託事業は仲介団体の事情により応募しなかった。長野市のCOOL CHOICE宣言の登録団体となった。		
・省エネプロジェクト	・COOL CHOICE宣言自治体コーディネート				
3 信州ネットの組織形態適正化	事業申請や受託を円滑に進め、責任ある事業主体となる	会員団体のネットと一般社団法人との一体的運営	登記など		終了
4 地域協議会との連携強化	地域協議会の活動成果を他地域に波及させる	地域協議会との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 各地域協議会の活動支援 各地域協議会からの情報発信を促す 各地域協議会の活動 		地域協議会の活動交流会を企画したが日程がうまく合わなかった。（各地域協議会からの報告は別紙）
5 SUWACO Labo、長野県との協定事業	「岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo」還元金を活用し、三者協定による情報公開と自然エネルギー普及活動を推進	事業成果報告ならびに情報発信業務	<ul style="list-style-type: none"> 事業成果発表会の開催（11/11 鴨池川エナジーパーク） 事業報告・分析データの情報公開、情報発信 自然エネルギー普及イベント等の開催（年3回） 地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 	平島	<ul style="list-style-type: none"> 事業成果発表会の開催 11/11 「信州自然エネルギーマルシェ」として実行 自然エネルギー普及イベント等の開催 PV-OM事業と同時開催 地域協議会等、各種イベントへの参加・支援をする体制づくり
6 信州ネット運営の基盤強化と会員参加による活動の活性化	財政基盤の確保 会員が主体で信州ネットを動かす	信州ネットを支える団体や個人を増やす 会員による自然エネルギー普及の取り組みの支援	広報活動、情報提供力の強化 長野県との連携		太陽光の保守点検事業を通して、会員増大を目指したが、会費会員は縮小した。
		運営会議のありかたを見直し、専門部会やプロジェクトチームなど各活動の責任者参加によって信州ネットの運営力を高める会議体の構築を進める。 信州ネットの活動がより活性化するように、会議体、専門部会、プロジェクトチームなどの位置づけや役割を明確にし、必要に応じて規約を改定する。			

北信

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

長野・北信地域において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及および自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりにむけて、次の活動に取り組んだ。

1. 地域住民への自然エネルギーの普及啓発

①定例会の開催

5回の定例会において情報交換や勉強会を行った。

第1回： 7月15日(土) 長野高専 見学会と同時開催

第2回： 8月 5日(土) 10:00～11:30 長野高専 環境都市工学科2F53番

第3回： 11月11日(土) 10:00～12:00 長野高専 環境都市工学科2Fミーティングルーム

第4回： 翌1月13日(土) 10:00～12:00 長野高専 環境都市工学科2F53番

第5回： 3月10日(土) 10:00～12:00 長野高専 環境都市工学科2Fミーティングルーム

②他団体のイベント協力および出前講座

会員等からの要請に応じイベント支援、出前講座に取り組んだ。この際、自然エネルギー学習ツールの貸出し、支援した。

- ・5月 5日(金)『一茶まつり』 会場：一茶記念会館前広場(信濃町) 岩間会員による
- ・7月21日(金)『やまと塾』自然エネルギー教室 会場：中野市倭小学校(中野市) 柴垣会員による
- ・9月 9日(土)『自然エネルギーエコフェスタ』 会場：アクアパル千曲

③広報ツールの活用

過年度に制作した自然エネルギーの冊子、ガイドマップ・ハンドブックを配布し、自然エネルギーの普及啓発を継続した。広報ツールは、リサイクルプラザ、自然エネルギー信州ネットなど関係機関に提供しているほか、必要に応じイベントや行事でも活用した。

④地域の市町村など行政と連携した普及啓発等

- ・広報ツールによる普及啓発(ハンドブック配布)では行政機関の協力を得た。
- ・長野市役所庁舎の見学会に際し、長野市役所地球温暖化対策室の協力を得た。

2. 地域における自然エネルギーの事業化に関する調査研究

定例会や講演会、見学会・視察等を企画、運営し、情報収集や調査研究に取り組んだ。なお、自然エネルギー信州ネット、長野市自然エネルギー普及協議会等との共催により、幅広い参加者を得ながら調査、研究を深めた。

①見学会

- ・『榊工営エナジー 高井発電所 見学会』

自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会 共催

日時：2017年7月15日(土) 10:00～11:00

高井砂防堰堤の未利用落差を利用した高井発電所は2015年10月に運転開始

・『鬼無里の湯 薪ボイラー 視察見学会』

日時：2018年3月13日（火）13：30～15：00

長野市バイオスタウン構想推進協議会、長野市自然エネルギー普及協議会と共催
今年度設置した薪ボイラーの稼働状況等を視察

3. 自然エネルギー普及モデルの検討、運営支援

情報交換会、勉強会、見学会などを通じ、事業実施事例から普及モデルを検討したほか、市民向けに地域主導型自然エネルギー普及モデルの啓発活動を行った。

・「自然エネルギーエコフェスタ！」の開催

自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会、長野市地球温暖化防止活動推進センター等と共催

日時：2017年9月9日（土）10：00～15：00

長野県流域下水道『アクアパル千曲』（長野市真島）

『17下水道ふれあいデー』への出展

日付	名 称	場 所	参加者	内 容
4月21日	自然エネルギー信州ネット 2017年度第1回運営会議	長野県環境保全協会 会議室	1名	出席14名。議題(事業報告・計画(案)、収支決算報告・計画(案)、理事改選 他)
4月21日	豊かな環境づくり佐久地域会 議 運営会議	佐久合同庁舎 501号会議室	1名	議題(事業報告・計画(案)、収支決算報告・予算(案)、役員改選 他)
5月27日	花と緑と動物ふれあいフェス タ2017	佐久ハイウェイオアシス平 尾山公園パワダ	5名	来場8,000人。燃料電池ミニカー(20台販売)・ソーラーミニカー(佐久咲くひまわり)の工作会・レース、環境エコイズ、IPCCリ ポート説明、太陽電池と人力発電の力比べ体験
5月29日	佐久市環境審議会	佐久市役所 8階大会議室	1名	佐久市環境審議会委員として当協議会加藤会長が出席 第二次佐久市環境基本計画の策定について 他
6月17日	信州ネット2017年度定時総 会	長野市生涯学習セン ター	1名	加藤会長出席。議題(事業報告・計画、収支決算報告・計画、新理事・新監事の選任、会長・理事の選任 他)
6月20日	第1回運営会議 県環境基本計画策定にあ たり県環境部長との意見交換 会	佐久商工会議所 3階会議室	13名	議題(今後の活動方針・計画)
7月6日	イベント案内	佐久市役所 環境部 環境政策課・学校教 育課	1名	エコキッズツアーの佐久市内小学校への案内と参加依頼(チラシ1,400部配布)
7月20日	自然エネルギー信州ネット 理事会	長野県環境保全協会 会議室	1名	議題(今後の活動方針・計画)
7月21日	広報活動 (佐久ケーブルテレビ)	佐久ケーブルテレビ	1名	午前7時30分～8時の「おはようSAKUいち」に加藤会長が生出演 内容は、当協議会と夏休みエコキッズツアーについての広報
7月28日	エコキッズツアー	各所	64名	児童49名、スタッフ15名(内ツアー同行11名+バス運転手2名) 佐久市平根発電所見学、小諸エコレレッジ(施設見学、電動アシスト付自転車体験、まき割り体験、もちつき体験、ソーラー クッカー実演、ひんやりデザートづくり、燃料電池ミニカー工作教室)、道の駅ヘルシーテラス佐久南施設見学
8月1日	水フェスin佐久2017	市民交流ひろば	2名	来場700人。地球温暖化防止についてパネル展示とパンフレット・資料による啓発。
8月25日	2017環境フェアin佐久実行 部会	佐久合同庁舎401号 会議室	1名	準備の進捗状況及び今後の準備、前当日の役割分担等の確認等
9月18日	広報活動 (佐久ケーブルテレビ)	佐久ケーブルテレビ	1名	午前7時30分～8時の「おはようSAKUいち」に加藤会長が生出演 内容は、当協議会と小学校への出張授業についての広報
9月30日	環境フェアin佐久(1日目)	駒場公園	5名	スタッフ4名(本部1名、他佐久咲くひまわり様支援あり)、燃料電池ミニカーの販売及び 工作教室33台(エコキッズツアー6名 を含む)販売
10月1日	環境フェアin佐久(2日目)	駒場公園	4名	スタッフ4名(本部1名、他佐久咲くひまわり様支援あり)、燃料電池ミニカーの販売及び 工作教室38台(エコキッズツアー5名 を含む)販売 ぞっこん! さく市の来場者数2日間で57千人。
10月14日	環境フェアJumpOut! 小諸	小諸市文化センター	3名	スタッフ3名、燃料電池ミニカーの販売及び工作会 計20台販売
10月14日	佐久市消費生活展	佐久市佐久平交流セ ンター	2名	協議会活動紹介、地球温暖化案内 太陽光発電システム商品説明 スタッフ2名
10月19日	イベント案内	佐久市内小学校(7 校)	1名	出張授業の案内
10月24日	広報活動 (佐久ケーブルテレビ)	佐久ケーブルテレビ	1名	午前7時30分～8時の「おはようSAKUいち」に加藤会長が生出演 内容は、当協議会と小学校への出張授業についての広報
10月27日	出張授業	岩村田小学校	5名	対象:4年生3クラス3回 実施内容:自然エネルギー、太陽電池の説明 スタッフ4名 佐久市環境政策課1名
11月17日	自然エネルギー信州ネット 理事会	長野県環境保全協会 会議室	1名	議題(今後の活動方針・計画)
11月22日	出張授業	中佐都小学校	4名	対象:4年生2クラス1回 実施内容:自然エネルギー、太陽電池の説明 スタッフ3名 佐久市環境政策課2名
12月15日	出張授業	田口小学校	9名	対象:4年2組(23名) 実施内容:自然エネルギー、太陽電池の説明 スタッフ7名 佐久市環境政策課2名
12月17日	自然エネルギー信州ネット 太陽電池相談会	鈴与マタイ 会議室	3名	住宅及び小規模(低圧)太陽光発電事業者向けセミナー 太陽光発電。こまでは自分でできる。改正FIT対応のPVメンテナンス ～住宅用・小規模太陽光発電のメンテナンス～
12月22日	佐久市環境審議会	佐久消防署 講堂	1名	佐久市環境審議会委員として当協議会加藤会長が出席 第二次佐久市環境基本計画の策定について 他
1月27日	自然エネルギー信州ネット 太陽電池相談会	山光ホール2階会議 室(安曇野市穂高柏 原2684)	1名	住宅及び小規模(低圧)太陽光発電事業者向けセミナー 太陽光発電。こまでは自分でできる。改正FIT対応のPVメンテナンス ～住宅用・小規模太陽光発電のメンテナンス～
4月11日	平成30年度総会	鈴与マタイ	16名	議題(平成29年度活動報告・会計報告 平成30年度活動計画・予算計画 他)
期間中	信州ネット(理事会、各部会) 長野県環境保全協会	各所		上記の他 意見交換会、セミナー、連絡会に参加

平成 29 年度事業報告

2) 平成 29 年度情報交流会

<p>2017 年 総会 6 月 3 日 (土) 13:30~15:30 (未広) 28 名</p>	<p>★総会 13:30~14:00 総会 14:00~14:15 講演「長野県の自然エネ、省エネの取組」 関 正一郎氏 14:15~15:05 部会報告「地産でバイオエネ利用の道を拓く」 川田 富夫氏 部会報告「地域貢献と自己実現を目指して」 宇野 親治氏 15:005~15:30 情報交流会、質疑応答</p>
<p>第 34 回 8 月 26 日 (土) 13:30~16:00 (荻原) 32 名</p>	<p>★宇宙飛行士の気分で地球を見てみよう？ 13:30~15:00 講演「触れる地球で見る、地球温暖化と地球環境」 宮澤 信 氏 15:05~15:35 講演「温暖化防止について、今私たちは何をすべきか」 沼田 清 氏 15:35~15:15:45 講演「さわやか信州省エネ大作戦について」 田畑 大城氏 15:45~16:00 質疑応答</p>
<p>第 35 回 11 月 18 日 (土) 13:30~15:30 (川田) 30 名</p>	<p>★さとやま再生に、私たちは何をすべきで、あなたはどうかかわれますか!? 13:30~14:10 学生による、里山再生・活動報告 「長野大学校有林における開墾実習、及び地本自治会などのマツタケ山と竹林再生作業の協働による学び報告！」 ツーリズム学部 森本ゼミ生、岩崎和典 氏 14:20~15:30 参加市民とわかもの(学生)による、ワークショップ 「さとやま再生に、私たちは何をすべきで あなたはどうかかわれますか？」 司会 川田富夫</p>
<p>第 36 回 2 月 10 日 (土) 13:30~15:30 (宇野) 21 名</p>	<p>★地球温暖化は他人事ではありません。 13:40~14:20 講演「ソーラーシェアリング及びEV等普及に伴う電力について」 栗田 力氏 14:20~14:50 講演「びおソーラーで足るを知る」 佐藤 重氏 14:50~15:20 講演「凍結防止帯の上手な使い方」 熊谷 隆之氏 15:20~15:30 質疑応答</p>

(1) 平成29年度の事業報告

【事業内容】

1. 10/21 (土) 見学会「エコトピア飯田 セルローズファイバー断熱材工場と省エネ建築」

講師：エコトピア飯田株式会社 代表取締役 櫻井善實 参加者：6人

場所：エコトピア飯田（桐林 環境産業公園内の工場、事務所）

内容：新聞紙のリサイクル素材で不燃性、吸湿性の断熱材を製造している現場を見学し、断熱材セルローズファイバーの解説をいただくとともに、先進地ドイツのように熱交換器や樹脂サッシも組み合わせた総合的な省エネ建築を進める意義について、講義をいただいた。

2. 1/19 (金)、1/21 (日) 映画「おだやかな革命」上映会

19日 (金) 上村自治振興センターでの参加者：10人

21日 (日) 旧飯田測候所での一般参加者：21人

内容：岐阜県石徹白の小水力発電、岡山県西栗倉村の木質バイオマス熱、福島県飯舘村の太陽光発電など、日本各地で住民や自治体が主導する地域エネルギー事業を追いかけたドキュメンタリー映画を上映した。上映後は、感想を意見交換した。

3. 2/3 (土) 見学会「木ねん堂ペレットストーブ、ペレット床暖房見学会」

場所：高森町 木ねん堂

参加者：15人

講師：飯田建設株式会社 代表取締役 三石克己

内容：ペレットストーブの実物が複数設置された展示場にて、ペレットのぬくもりを感じながら、ストーブの構造や売れ筋のストーブの紹介をお聞きした。また事務室の床暖房にもペレットが使われていて、ボイラーの様子をご説明いただいた。

4. ブログによる情報発信

講演会等の開催告知、実施レポートなど協議会のブログで広報しました。

<http://msekyogikai.naganoblog.jp/>

5. メーリングリスト等による、環境情報の発信

信州ネット本部や長野県からの環境情報（補助金や勉強会などの情報）など、セミナー協議会会員に共有しました。

南信州自然エネルギー普及協議会 エコトピア飯田 断熱材工場見学レポート



工場の外観



事務室でのレクチャー

2017/10/21 エコトピア飯田 桐林の工場にて。
講師 エコトピア飯田株式会社 代表取締役 櫻井善實さん

断熱材の製造現場見学

- セルローズファイバー（新聞紙古紙をリサイクルした繊維系断熱材）の製造を、桐林の工場にて行っている。



工場内は、屋根裏や壁がセルローズファイバーを吹付け施工されている。断熱、防音効果がある。



工場入口には古紙の回収ラックがあり、持ち込みを受け付けている



新聞古紙を裁断し、細かく破碎して繊維状にして、ふわふわの綿状にする。

セルローズファイバーについての講義



水につけても特殊な加工ですぐには沈まない。腐りにくい。適度に吸湿はする。



ガスバーナーの炎で炙っても、焦げるだけでとても燃えにくい。

省エネ建築の講義

- ここがセルローズファイバー（断熱材）壁の中に分厚く充填！



熱交換換気

樹脂サッシ窓

断熱材の充填に加え、気密性を高めて熱交換換気、樹脂サッシの窓（二重ガラスや三重ガラス）を使うことも大事。ドイツでは、建物の省エネルギー基準が強化され、上記のような仕様が標準化している。

まとめ

- 日本でも先進的な存在として、新聞古紙をリサイクルした繊維系断熱材（セルローズファイバー）の製造工場が、飯田市桐林の環境産業公園に立地している。
- 繊維系であるが特殊な加工技術により、難燃性や適度な吸放湿性、有害物質を含まないなどの優れた特徴がある。なんといっても、古紙からできていることから、天然の木質素材のリサイクルである。
- 日本でも近年、ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）が始まり、建物の省エネルギー性能が求められるようになってきた。そのような流れの中で、エコトピア飯田の断熱材も注目をされている。
- これからの建築は、エコを考えるならば、「気密性と断熱性」を十分に考慮することが社会にとって大事になってくる。環境先進国ドイツのように、エネルギーのロスが少ない建築が当たり前になるために、エコトピア飯田さんの断熱材は大きく貢献すると思いました。

南信州自然エネルギー普及協議会 木ねん堂ペレットストーブ見学レポート



ペレットストーブのショールーム
(木ねん堂) 建屋外観



ペレットストーブの展示と、
雑貨ショップも併設された店内

2018/2/3 木ねん堂 (高森町) にて。
講師 飯田建設株式会社 (木ねん堂運営) 代表取締役 三石克己さん

ペレットストーブの紹介

- ペレットは木質バイオマスであり、もともとはCO2を吸収する森林資源であることから、カーボンニュートラルといえる。CO2フリーの環境に優しい熱エネルギーである。
- そのペレットは、南信バイオマス協同組合が地域の間伐材などを使って製造している。



ペレットストーブの構造



ペレットストーブは、大掛かりな煙突工事が不要。排気と吸気は機械で強制的に行われる。耐熱レンガなどしなくても、そのまま床に設置することができる。

薪ストーブの輻射熱とは異なり、熱風が出て直接的に暖房するタイプが基本。

国内製のペレットストーブのみでなく、海外製のペレットストーブも多種出ており、木ねん堂では各種取り揃えている。デザインもいろいろ。

売れ筋のペレットストーブ



レバナ：オルスバーク (ドイツ製)
通常は熱風が出て温めますが、この機種は送風ファンを使わない自然対流方式でとても静かです。

対流と輻射熱のW効果
本体から効果的に輻射熱を放出するのでワンランク上質な暖かさが体感できます。

価格は60万円前後 (機種による) と、他社の50万円以下のラインナップと比べると高めですが、薪ストーブのような穏やかな輻射熱が心地よく、よく売れているとのこと。

講座のオープニングは、三石社長のライブでスタートしました!! みなさんリラックスができました(^^)

ペレットボイラー床暖房



韓国製のペレットボイラー床暖房が、事務所床に導入されています。



床下の白いチューブの配管で温水を回して、モルタル層で蓄熱している。



温水の循環スペースは、部屋ごとに開閉してコントロールできる。



ペレットストーブ、ペレットボイラー床暖の特徴

【ペレットストーブ】

- 薪ストーブのような薪の管理がなく、手軽に利用できる木質バイオマスの暖房。灰も少ない。
- 設置工事も、薪ストーブよりも気をつかわずに行うことができる。
- 温風の送風式がメインだが、機種によっては輻射熱を採用したものもあり、そちらが人気。
- いろいろなデザインがあり、国産、海外製から選ぶことができる。木ねん堂は、そのための実機を展示したショールームになっている。
- 家を新築するような、子育ての若い世代のユーザーも増えている。

【ペレットボイラー床暖房】

- おだやかな足元からの熱で、じんわりと部屋中が温かい。
- 部屋ごとに温水の循環をコントロールすることもできて、暖房不要な部屋は温水を回さないような運用もできる。
- 自動で運転されるので、おだやかな全体的な暖かさとともに、お年寄りの生活にとっても合っている。
- オンドル文化のある韓国が先進国であり、韓国製のシステムを木ねん堂では採用している。数年使用しているがこれまで大きな故障していない。

まとめ

- 地域の森林資源をペレットとして有効に使うことが出来て、快適な暖かさを得られるペレットストーブやペレットボイラーは、省エネ建築の普及と一緒に、これからもっと広まっていくと思いました。

木ねん堂さんは、実機をいくつも目で見て、（冬季であれば）暖かさも体感できる貴重なショールームです。

おしゃれな雑貨の販売と合わせ、ライフスタイルとして、木質バイオマスを普及しています。

長野市自然エネルギー普及協議会 平成29年度 事業報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

長野市内において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及および自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりにむけて、次の活動に取り組んだ。

1. 地域住民への自然エネルギーの普及啓発

①他団体のイベント協力および出前講座

関係諸団体からの要請に応じイベント支援、出前講座に取り組んだ。この際、自然エネルギー学習ツールの貸出し、支援した。

- ・5月 5日(金)『一茶まつり』 会場：一茶記念会館前広場(信濃町)
- ・7月21日(金)『やまと塾』自然エネルギー教室 会場：中野市倭小学校(中野市)
- ・9月 9日(土)『自然エネルギーエコフェスタ』会場：アクアパル千曲

③広報ツールの活用

過年度に制作した自然エネルギーの冊子、ガイドマップ・ハンドブックを配布し、自然エネルギーの普及啓発を継続した。広報ツールは、リサイクルプラザ、自然エネルギー信州ネットなど関係機関に提供しているほか、必要に応じイベントや行事でも活用した。

④地域の市町村など行政と連携した普及啓発等

- ・広報ツールによる普及啓発(ハンドブック配布)では行政機関の協力を得た。
- ・長野市役所庁舎の見学会に際し、長野市役所地球温暖化対策室の協力を得た。

2. 地域における自然エネルギーの事業化に関する調査研究

定例会や講演会、見学会・視察等を企画、運営し、情報収集や調査研究に取り組んだ。なお、自然エネルギー信州ネット、自然エネルギー長野北信地域協議会等との共催により、幅広い参加者を得ながら調査、研究を深めた。

①見学会

- ・『㈱工営エナジー 高井発電所 見学会』

自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会 共催

日時：2017年7月15日(土) 10:00～11:00

高井砂防堰堤の未利用落差を利用した高井発電所は2015年10月に運転開始

- ・『鬼無里の湯 薪ボイラー 視察見学会』

日時：2018年3月13日(火) 13:30～15:00

長野市バイオマスタウン構想推進協議会、自然エネルギー長野北信地域協議会と共催

今年度設置した薪ボイラーの稼働状況等を視察

3. 自然エネルギー普及モデルの検討、運営支援

情報交換会、勉強会、見学会などを通じ、事業実施事例から普及モデルを検討したほか、市民向けに

地域主導型自然エネルギー普及モデルの啓発活動を行った。

- ・「自然エネルギーエコフェスタ！」の開催

自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会、長野市地球温暖化防止活動推進センター等と共催

日時：2017年9月9日（土）10：00～15：00

長野県流域下水道『アクアパル千曲』（長野市真島）

『17下水道ふれあいデー』への出展

2017 年度は以下の方針のもとにエネットまつもとの活動を行った。

- 1) 松本市環境政策課と協働し、「松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画」の実行に協力し、市民セクターとしての役割を果たす。
- 2) 松本地域振興局環境課との協働で、「防災に役立つ自然エネルギー展示会（仮称）」を開催する。
- 3) 1)と2)の展開に関連づけて、松本市以外の自治体との連携を深める。
- 4) 2016 年度に検討した「防災と自然エネルギー」のアイデアを活用する方法を具現化する。
- 5) 学習会活動、木質バイオマス普及活動、情報発信・広報活動、学校向け環境学習を継続する。

2017 年度事業実施報告

項目	活動概要、時期	おもな担当	実施状況
1 松本市環境政策課との連携	○推進計画達成に向けての具体的施策の提案、意見集約など	運営委員	松本市議会建設環境委員会との意見交換会（2/2、3/15） 運営会議への松本市環境政策課（鈴木さん）の継続的参加（12月～）
2 松本地方事務所環境課との連携	○「自然エネルギーで防災」展示会（11月）	ネットワークづくりWG	地方事務所長総合調整推進費は不採択 「防災と自然エネルギー」をテーマに連続検討会（11月～3月）
3 地域の情報の掘り起こし	○2015年3月の自然エネルギー講座での講師たちとのつながりの発展 ○「長野県自然エネルギー白書（仮称）」の松本地域パートへの協力	運営委員	該当活動なし
4 学習会	○環境全般および自然エネルギーについての学びと意見交換 ○会員、一般市民との学習、交流の場を提供する 学習会 計 12 回開催（毎月開催）	学習会WG	毎月開催計 12 回 学習会発展のための検討（10/13）
5 情報発信・広報活動	○HP・Facebookページを通じての情報公開（お知らせ、活動報告、リンク）、エネットまつもとの活動レポート、情報アップ、イベントの支援など ○通信「action」の発行、計 2 回	広報チーム	HP・Facebook ページを常時更新 action 8 を発行 しおじりまちづくり交流会 2016 へのパネル出展（10/24～11/20）
6 環境学習	○中信地区環境教育ネットワークメンバーとして小中学校での環境教育実施	MOKUBA の会	10/25 松本市会田中学校で公開授業実施 「枯れ木を活かすぼくらの知恵」
7 その他	○ぼくらの学校 ○ロケットストーブ作り講習		9/24“松本一受けたい授業”として「暮らしの中でのエネルギーの使い方・作り方」 10/29 茅野市アノニムギャラリーでロケスト作りワークショップ開催 5/11 総会、運営会議毎月開催計 11 回

2017年（平成29年）度 自然エネルギー信州ネット 収支決算報告

資料2-1

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入決算額 3,988,789 円
 支出決算額 3,948,581 円
 次期繰越金 40,208 円

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,036,800	710,000	-326,800	情報会員への移行多い。新規会費会員は1、2名（前期実績 831,000円）
寄付	0	434,575	434,575	個人から寄付金（前期実績 1,700円）
利息	500	24	-476	利息
雑収入	10,000	102,230	92,230	書籍販売 一社よりトナー代使用料など
SUWACO Labo	2,000,000	2,000,000	0	・SUWACO Labo還元金活用事業
人材育成事業	780,000	741,960	-38,040	人材育成事業
受託事業収入	1,500,000	0	-1,500,000	COOL事業 失注
経常収入合計	5,327,300	3,988,789	-1,338,511	

前期繰越金	1,031,856	1,031,856	0	
合計	6,359,156	5,020,645	-1,338,511	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
人件費・諸謝金	620,000	0	-620,000	補助アルバイトは会場費に計上
旅費・交通費	489,000	100,090	-388,910	・理事会、運営会議の役員交通費 ・SUWACO スタッフ交通費 ・Cool Choice事業 失注 ・スタッフ通勤費
借損料・役務費	2,080,000	1,892,960	-187,040	・HPPサイト管理費用、PCメンテなど ・SUWACO事務委託費（一社ネット） 増額 ・SUWACO イベント制作協力費
リース料・家賃	363,480	356,640	-6,840	・プリンターリース9,720×12ヶ月 ・事務所家賃20,000×12ヶ月
会場費	95,000	59,150	-35,850	・総会、運営会議会場費 ・SUWACO 事業会場費 43,200円 ・SUWACO スタッフ弁当14,000円（1000*14名）
消耗品費	70,000	192,331	122,331	・事務用品、プリンタートナー
印刷製本費	120,000	228,960	108,960	・SUWACO 事業印刷費 人材育成事業別途計上
通信運搬費	200,000	142,752	-57,248	・郵便、宅配便13,860円 ・電話・サーバー・ネット回線
会議費	0	0	0	（会場費・家賃を含む）
光熱費	0	0	0	（家賃を含む）
雑費・手数料	50,000	60,849	10,849	・SUWACO 支払手数料等 2,268円 ・SUWACO イベント保険料 25,900円 ・支払い手数料、本の仕入れ代等 32,681円
租税公課	75,000	79,168	4,168	法人住民税71,000円＋源泉所得税8,168円=79,168円
専門部会活動費	150,000	15,489	-134,511	バイオマス部会 15,489円
人材育成事業	780,000	741,960	-38,040	人材育成事業経費一括 741,960円
税理士報酬・予備費	100,000	78,232	-21,768	
経常支出合計	5,192,480	3,948,581	-1,243,899	
当期収支差額		40,208		
次期繰越金		1,072,064		

特別会計の部

特別会計より一般会計へ	-2,000,000	-2,000,000	0	特別会計の利息12円は、一般会計へ繰出
特別会計へ	2,000,000	2,000,000	0	
特別会計収支	0	0	0	

自然エネルギー信州ネット 公益事業・収益事業区分

資料2-2

(2017年(平成29年)4月1日から2018年(平成30年)3月31日まで)

■公益事業収入 28.7%

■収益事業収入 71.3% (※配分率の表示は小数点以下1桁で四捨五入している
ので、金額にズレが生じる可能性があります)

項目	金額	備考	項目	金額	備考
会費	710,000		岡谷酸素SUWACOLabo 還元金活用事業	2,000,000	消費税込み
寄付金	434,575		人材育成事業	741,960	
利息	24	普通口座12円 特別口座12円	雑収入	102,230	
当期収入合計額	1,144,599		当期収入合計額	2,844,190	

■公益事業支出

■収益事業支出

項目	金額	備考	項目	金額	備考
人件費・諸謝金	0	(今期はエネ庁事業でまかなったので、昨年度より-960,000円)	人件費・諸謝金	0	
旅費・交通費	87,610	運営会議・理事会等の理事交通費	旅費・交通費	12,480	SUWACO Laboスタッフ交通費
借損料・役務費	38,560	サイト管理費 38,560円	借損料・役務費	1,854,400	事務局運営委託費1,814,400円 SUWACO イベント制作費 40,000円
リース料・家賃 (按分)	102,339	プリンターリース代 116,640円 家賃240,000円 × 28.7%=102,339 円	リース料・家賃 (按分)	254,301	プリンターリース代 116,640円 家賃240,000円 × 71.3%=254,301円
会場費	1,950	総会会議室使用料1,950円	会場費	57,200	SUWACO Labo還元金事業 会場費 57,200
消耗品費(按分)	55,190	事務用品 プリンタートナー代 192,331円 × 28.7%=55,190円	消耗品費(按分)	137,141	事務用品 プリンタートナー代 192,331円 × 71.3%=137,141円
印刷製本費	0		印刷製本費	228,960	SUWACO Labo還元金事業 成果発表会告知チラシ印刷費
通信運搬費 (電話サーバーネット回線按分)	36,986	電話、移転工事費、サーバー、ネット回線 128,892円 × 28.7%=36,986円	通信運搬費 (電話サーバーネット回線按分)	105,766	郵便代 13,860円 電話、サーバー、ネット回線 128,892円 × 71.3%=91,906円
会議費	0		会議費	0	
光熱費(按分)	0		光熱費(按分)	0	
雑費(按分)	16,543	・専門部会活動費 15,489円 ・支払い手数料等按分 3,672円 × 28.7%=1,054円	雑費	59,795	・SUWACO 支払手数料等 2,268円 ・SUWACO イベント保険料 25,900円 ・本の仕入れ代 29,009円 ・支払い手数料等按分 3,672円 × 71.3%=2,618円
租税公課	0		租税公課	79,168	法人住民税71,000円+源泉所得税8,168円
税理士報酬(按分)	22,449	2017年度分 78,232円×28.7%=22,449円	税理士報酬(按分)	55,783	2017年度分 78,232円×71.3%=55,783 円
			人材育成事業	741,960	
当期支出合計額	361,627		当期支出合計額	3,586,954	
当期収支差額	782,972		当期収支差額	▲ 742,764	

2017（平成29）年度監査報告書

2017年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告いたします。

1. 自然エネルギー信州ネットの規約により監査した結果、自然エネルギー信州ネットの会計収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、本団体の収支の状況を正しく示していると認めます。

2018年 6月18日

監 事宮入 賢一郎 (印).....

※個人情報を保護するため、署名、押印された監査報告書は事務局にて保管しています。

2017～2018 (H29～H30) 年度役員 (2年間)			
役職名	氏名	地域	所属
理事・会長	高木 直樹	長野・北信	信州大学工学部教授
理事	平島 安人	松本	自然エネルギーネットまつもと (代表)
理事	田村 恵子	松本	自然エネルギーネットまつもと (副代表)
理事	合原 亮一	上小	NPO法人上田市民エネルギー 理事
理事	茅野 恒秀	松本	信州大学人文学部准教授
理事 (退任)	小田切 奈々子	長野・北信	自然エネルギー信州ネット 事務局コーディネーター
理事 (退任)	加藤 三喜夫	佐久	鈴与マタイ株式会社 自然エネルギー佐久地域協議会
理事 (新任)	小野 要	佐久	鈴与マタイ株式会社 自然エネルギー佐久地域協議会
監事	宮入 賢一郎	長野・北信	NPO法人 CO2バンク推進機構
監事 (新任)	金子 和寛	上小	公認会計士・税理士・不動産鑑定士
顧問	茅野 實	長野・北信	前会長
顧問	飯田 哲也		ISEP代表
顧問 (新任)	真関 隆		長野県
事務局長	浅輪 剛博	上小	一般社団法人NECO企画部長

自然エネルギー信州ネット 2018年度活動計画（案）

資料3

I 2018年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1)新規プロジェクト（白書、クラスター、人材育成、信州ソーラーパトロールなど）を実行しながら、実際の成果を得る。
- 2)専門部会の活動をテーマ達成型の活動へと軸足を移し、活動の活性化をはかる。
- 3)創エネと共に省エネ・建物断熱化をめざし、総合的な自然エネルギーまちづくりの事業に関わる。
- 4)会員参加によって信州ネットの活動を活性化させるしかけや仕組みを取り入れる。

II 活動計画 及び報告

大項目	目的・ねらい	内容	施策	担当	
1 専門部会活動の推進	全県共通テーマを中心に、専門性のある調査、研究、企画	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める	各専門部会が策定する活動計画による		
		・太陽光部会	・信州ソーラーパトロール(O&M)の拡大 ・2019年問題セミナー ・PV大量導入の対応セミナー ・ソーラーシェアリング普及セミナー	中村 嘉寿良氏	
		・小水力部会	小水力発電の県内新規事業の研究／視察（完成する発電所への、完成するまでの問題点など調査する）	丸山 幹夫氏	
		・バイオマス部会	・林業と連携したバイオマス事業などのセミナーの開催	田中守氏	
		・グリーン熱部会	・太陽熱、地中熱、地域熱供給、PVからヒートポンプなど最新事業の情報収集とセミナー ・ZEH導入、エコ建築専門委員会の立ち上げ	中村 嘉寿良氏	
		・政策調査部会	・政策調査部会の体制見直し 部会員を確定し部会運営の役割分担を明確にする ・各専門部会、地域協議会から課題、対案、提言などのヒアリングをして意見書をまとめる	平島	
2 プロジェクトチームの創設と活動	地域資源を活用した	信州ネットのプロジェクトチームとして創設			
	地域協働による自然エネルギーの普及	・「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会	茅野	
	自然エネルギーを活用した 持続可能な地域づくり	・「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	長野県の研究会に継続参加。独自のクラスター戦略を持つ		平島
		・事業化支援事業（鬼無里）	・鬼無里「あるをつくす」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり		小田切
		・人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ 「計画する」「伝える」「育てる」		
	会員の主体的な参加による事業推進	・太陽光O&M（信州ソーラーパトロール）の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。		合原
		・ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。新しい資金調達の方法の紹介なども検討。		合原
プロジェクトチーム提案に対しての支援・協力		・事業化支援を行う人材(会員)のチームアップ 広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など。専門部会と共同して実施 エコ建築専門部会など検討する。 飯田市にて10回目の開催。会長が実行委員長、団体としても実行委員に参加。 地域からのエネルギーシフトの活動を支えるプロジェクト		田村	
3 地域協議会との連携強化	地域協議会の活動成果を他地域に波及させる	地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業にて交流会を行う。		
4 SUWACO Labo、長野県との協定事業	「岡谷酸素太陽光発電所SUWACO Labo」還元金を活用し、三者協定による情報公開と自然エネルギー普及活動を推進	事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動（一般の人に親しみを持ってもらうような活動）	信州自然エネルギーマルシェを実施し、実行する。 ・参加人数が増えるような開催形態での企画を立てる ・事業成果発表会の開催 ・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催(年3回) ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島	
5 信州ネット運営の基盤強化と会員参加による活動の活性化	財政基盤の確保 会員が主体で信州ネットを動かす	信州ネットを支える団体や個人を増やす 会員による自然エネルギー普及の取り組みの支援	専門部会の充実を図り、企業会員のメリットを拡大する。 情報会員から準会員への移動を目指す。		
	運営会議のありかたを見直し、専門部会やプロジェクトチームなど各活動の責任者参加によって信州ネットの運営力を高める会議体の構築を進める。 信州ネットの活動がより活性化するように、会議体、専門部会、プロジェクトチームなどの位置づけや役割を明確にし、必要に応じて規約を改定する。				

資料4

2018年(平成30年)度

予算計画

収入の部		自然エネルギー信州ネット					
科目	2017予算	2017決算	2018予算額		対予算 前年度比	対決算 前年度比	備考
会費	540,000	350,000	400,000				
	410,400	300,000	333,333				
	86,400	60,000	66,667	800,000	-236,800	90,000	現会員数の2割程度増を目指す
補助金	0	0	180,000	180,000	180,000	180,000	補助金の獲得を目指す
寄付金	0	434,575	100,000	100,000	100,000	-334,575	
イベント協賛金	0	0	20,000	20,000	20,000	20,000	セミナー開催時宣伝協力など
受託事業収入	1,500,000	0	0		-1,500,000	0	
	780,000	741,960	0		-780,000	-741,960	(人材育成事業 終了)
	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	・SUWACO Labo還元金活用事業
販売収入	0	25,600	0	0	0	-25,600	
雑収入	10,000	76,630	20,000	20,000	10,000	-56,630	セミナー参加料など
利息	500	24	20	20	-480	-4	
経常収入合計	5,327,300	3,988,789	3,120,020	3,120,020	-2,207,280	-868,769	
前期繰越金	1,031,856	1,031,856	1,072,064	1,072,064	40,208	40,208	(特別会計200万円は計上せず)
合計	6,359,156	5,020,645	4,192,084	4,192,084	-2,167,072	-828,561	
支出の部							
科目	2017予算 額	2017結果	2018予算額		対予算 前年度比	対決算 前年度比	備考
人件費・諸謝金	80,000	0	40,000		-40,000	40,000	・補助アルバイト人件費
	60,000	0	60,000		0	60,000	・SUWACO講師謝金
	0	0	0		0	0	
	480,000	0	0	100,000	-480,000	0	(事務局運営は、一社に委託する。 雇用契約の関係)
旅費・交通費	100,000	29,160	50,000		-50,000	20,840	・理事会、運営会議の役員交通費
	50,000	12,480	30,000		-20,000	17,520	・SUWACO 交通費
	200,000	0	0		-200,000	0	(COOLCHOICE予算なし)
	139,000	58,450	0	80,000	-139,000	-58,450	(ストック通勤費は一社より)
借損料・役務費	0	38,560	25,000		25,000	-13,560	HP管理費用
	1,680,000	1,814,400	1,680,000		0	-134,400	・SUWACO 事務委託費(一社ネット)
	400,000	40,000	0	1,705,000	-400,000	-40,000	(SUWACO LABO 業務委託費増加なし)
リース料・家賃	116,640	116,640	116,640		0	0	・プリンターリース9,720×12ヶ月116,640円
	246,840	240,000	240,000	356,640	-6,840	0	・事務所家賃20,000×12ヶ月
会場費	10,000	1,950	2,000		-8,000	50	・総会、運営会議会場費 2,000円
	60,000	57,200	60,000	62,000	0	2,800	・SUWACO 事業会場費 60,000円
	25,000	0	0		-25,000	0	(人材育成事業終了)
消耗品費	70,000	192,331	200,000	200,000	130,000	7,669	・事務用品、プリンタートナー 200,000円
	0	0	0		0	0	
印刷製本費	70,000	228,960	70,000	70,000	0	-158,960	・SUWACO 事業印刷費 70,000円
	0	0	0		0	0	
	50,000	0	0		-50,000	0	
通信運搬費	50,000	13,860	30,000		-20,000	16,140	・郵便、宅配便 30,000円
	150,000	128,892	150,000	180,000	0	21,108	・電話・サーバー・ネット回線
会議費	0	0	0	0	0	0	(貸会議室 家賃に含む)
光熱費	0	0	0	0	0	0	(家賃に含む)
雑費		28,168	30,000		30,000	1,832	支払い手数料等 30,000円
	50,000	32,681	0	30,000	-50,000	-32,681	(2017の本仕入れ代なし)
租税公課	75,000	79,168	75,000	75,000	0	-4,168	法人市県民税75,000円
専門部会活動費	150,000	15,489	150,000	150,000	0	134,511	30,000円×5部会
人材育成経費	780,000	741,960	0	0	-780,000	-741,960	(人材育成事業 終了)
予備費	100,000	78,232	100,000	100,000	0	21,768	税理士報酬含む
経常支出合計	5,192,480	3,948,581	3,108,640	3,108,640	-2,083,840	-839,941	-839,941
経常収支	134,820	40,208	11,380	11,380	-123,440	-28,828	
次期繰越金	1,166,676	1,072,064	1,083,444	1,083,444	-83,232	11,380	